

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK19)

(函館水試担当地区)

2013年9月2日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	8/26	0	23.6	31.53	0	0	0	0	20	Dm20
噴火湾湾口部		5	23.5	31.55	10	0	0	0	40	Di10, Dro30
11.0		10	23.0	32.07	0	0	0	0	40	Di20, Dro20
		15	18.1	33.07	0	0	0	0	80	Dm20, Di30, Dro30
		20	15.6	33.40	0	0	10	0	30	Dm30
		25	11.3	33.43	0	0	30	10	50	Dm40, Di10,
		30	9.7	33.38	0	0	0	0	10	Dm10
		40	7.7	33.27	0	0	0	10	20	Di10, Dn10

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロトゥンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

水温は8月下旬は、噴火湾湾口部では7.7~23.6°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK18)

(函館水試担当地区)

2013年8月26日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 2.0	8/19	0	23.9	27.29	0	0	0	40	240	Dm230, Di10
		5	21.6	32.06	0	0	0	10	260	Dm120, Dro120, Di20
		10	19.4	32.67	0	0	0	10	90	Dm70, Dro20
		15	17.7	32.76	0	0	0	0	30	Dm20, Dro10
		20	16.8	33.04	0	0	0	0	0	
		25	15.8	33.10	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 8.0	8/13	0	23.7	30.16	0	0	0	0	80	Dm30, Dro30, Di20
		10	20.3	32.60	0	0	0	0	50	Dm40, Dro10
		20	17.9	33.52	0	0	10	30	0	
		30	16.3	33.61	0	0	10	0	10	Dm10
知内 津軽海峡 9.5	8/26	0	24.2	33.53	0	0	0	0	0	
		10	22.3	33.76	0	0	0	0	0	
		20	21.5	33.86	0	0	0	0	30	Dro20, Dru10

*D.fortii=Dinophysis fortii デイノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos デイノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス ロテュンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

水温は8月中旬は、噴火湾西部では13.2～23.9°C、津軽海峡では21.5～24.2°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK17)

(函館水試担当地区)

2013年8月6日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	8/5	0	20.9	33.11	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	20.3	33.25	0	0	0	0	30	Dm20, Dru10
		20	18.5	33.43	0	0	0	0	20	Dm10, Di10
		30	16.6	33.62	0	0	20	0	20	Dm10, Di10
虻田	8/5	0	21.2	31.07	0	0	0	0	10	Dm10
噴火湾東部		5	19.3	32.12	0	0	0	10	0	
		10	18.6	32.28	0	0	0	10	10	Dm10
		15	18.1	32.54	0	0	0	10	0	
		20	17.5	32.94	0	0	0	0	0	
		25	16.5	33.26	0	0	0	0	0	
知内	7/29	0	21.7	33.15	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	21.7	33.17	0	0	0	0	20	Dm20
		20	20.9	33.16	0	0	0	0	20	Dro20

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス アキュミナータ
Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラクス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*
Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス
Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ
Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ
Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡に出現しています。

水温は7月下旬・8月上旬は、太平洋中部では16.6~20.9°C、噴火湾東部では16.5~21.2°C、津軽海峡では20.9~21.7°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)